

令和5年度 第4四半期（1～3月）における電気関係報告規則に基づく電気関係事故報告について、概要をとりまとめましたのでお知らせいたします。今期においては以下の通りです。

感電等死傷 事故	電気火災 事故	物損等事故	破損事故	供給支障 事故	発電支障 事故	波及事故	社会的影響 を及ぼした 事故	合計
1	0	2	1	1	0	3	0	8

電気保安に携わる皆様におかれましては、これらの事故に伴う損失・被害を十分に認識し、保安意識・技術の向上や、適切な点検・計画的な設備更新を図るとともに、自主保安体制の充実・強化に努め、電気事故の防止に役立てていただきますようお願いいたします。

感電等死傷事故

発生施設	発生年月	電気 工作 物	原因	概要	事故原因	再発防止策
需要設備	令和6年3月	LBS	作業準備不良	当該ビルの計量自動検針化に伴い、屋上キュービクル内に設置している高圧計器に新通信端末を設置する工事において、充電中のキュービクル内で通信端末の設置	本工事が電気管理技術者の管理・監督の下に実施されていなかったため、例えば以下の件について不備があった。 ・作業現場は監督者不在での一人作業であった。 ・活線作業時における作業者の安全対策がなされていなかった。	検討中
			作業方法不良	を行った際に、被災者（一般送配電事業者から受注を受けた請負会社の協力会社）が受電設備内のLBSに接触したことで感電した。なお、被災者は作業完了後に体調不良を訴え、救急車にて病院へ搬送され、右頭蓋骨骨折及び急性硬膜外血腫と診断され緊急手術を実施し、一命は取り留めた。	本工事が電気管理技術者の管理・監督の下に実施されていなかったため、例えば以下の件について不備があった。 ・被災者と電気管理技術者との作業前の事前打ち合わせが実施されておらず、作業手順及び安全上の留意確認がなかった。 ・請負事業者から通信端末設置工事を行いたい旨の連絡があった際、その工事がキュービクル内に立ち入る作業内容だったにも関わらず、電気管理技術者への連絡を失念した。	検討中
			故意・過失(作業者の過失)		請負事業者から具体的な作業日時の連絡がなく、作業当日も設置者に作業着手する旨を伝えることなく作業を開始した。	検討中

物損等事故

発生施設	発生年月	電気 工作物	原因	概要	事故原因	再発防止策
水力 発電所	令和6年1月	ヘッドタンク	自然現象 (氷雪)	当該発電所において、発電所余水路からの流木及び土砂が近隣のキャンプ場駐車場に流出したことを発見。よって、取水停止したうえで調査したところ、ヘッドタンクの損壊を確認。	調査中	検討中
太陽電池 発電所	令和6年3月	パネル	自然現象 (風雨)	3月12日に配電線事故があったため、現地確認のため主任技術者が出動して現地を確認したところ、太陽光モジュールがフレームからなくなっており構外に7枚飛散していた。飛散したパネルをすべて回収し発電所構内に置き飛散しないよう固定した。 飛散した太陽光モジュールによるけが人はなかった。	3月10日(日)15時頃、太陽光発電所付近で局地的な竜巻のような強い風が発生していたため、強風により太陽光モジュールが吹き飛ばされたものと推察される。	検討中

主要電気工作物の破損事故

発生施設	発生年月	電気工作物	原因	概要	事故原因	再発防止策
風力 発電所	令和6年1月	誘導発電機	調査中	エラー発生により風車が自動停止したため調査を開始したところ、発電機回転子巻線部分に破損が確認された。ちなみに、当該発電機の対地間絶縁抵抗値は基準値以上だったこともあり、覚知が遅くなった。	調査中	検討中

供給支障事故

発生施設	発生年月	電気 工作物	原因	概要	事故原因	再発防止策
変電所	令和6年1 月	高圧ケー ブル	故意・過 失(作業 者の過 失)	変電所内の小動物侵入防止 対策の修理工事において、 6kV母線連絡用電力ケーブ ル貫通孔の小動物侵入防止 材（石綿含有）の撤去をマイ ナスドライバーで実施し ていたところ、誤って6kV 母線連絡用電力ケーブルを 損傷させたため、変電所地 絡リレーが作動し、供給支 障事故が発生。	適切な工具（木製の剥離工 具）を使用すべきだったと ころ、不適切な工具（マイ ナスドライバー）を使用し たため	検討中

一般送配電会社に波及した事故

発生施設	発生年月	電気 工作物	原因	概要	事故原因	再発防止策
需要設備	令和6年1月	高圧ケーブル	保守不備 (自然劣化)	配電線事故が発生し、一般送配電会社が調査したところ、当該事業場が原因ということがわかり、当事業場を切り離し復電。	高圧引込ケーブル（E-Tタイプ）が地中埋設で敷設され、一部水に浸かっている環境が有ることが影響し、劣化の進行を速め地絡に至ったと思われる。 高圧ケーブルが地絡すると、現状設備では地絡事故保護範囲がキュービクル設備内のみとなっているために波及事故となる。	・既存のE-TケーブルをE-Eケーブルへ張替える。 ・近年、全国の自家用電気工作物設置事業場において、比較的新しい高圧ケーブルが絶縁破壊し、一般送配電事業者に供給支障を与える事故が増加していると注意喚起が発令されていることを踏まえ、定期点検等で高圧引込ケーブルの測定結果が悪い場合は早急に取替を計画・実施する。
需要設備	令和6年3月	PAS	保守不備 (自然劣化)	当該事業場にて停電発生し、近隣も停電。 一般送配電会社が配電線路開閉器を開放し、当事業場を切り離し復電。	開放型高圧気中開閉器の二次側（負荷側）S相端子に亀裂が生じたところに、雪解け水が浸入したため、絶縁劣化し、地絡に至ったと推定される。 波及事故に至った原因は、当該事業場内に高圧地絡事故時に事故点を切り離す保護装置が未設置であったため、波及に至った。	・地絡保護継電器無し開放型高圧気中開閉器から地絡保護継電器付過電流ロック形高圧気中開閉器（G付PAS）へ取り替えた。 ・今回の事故発生を踏まえ、他の老朽化した設備の更新についても、電気保安法人と相談し更新計画の策定を検討する。
需要設備	令和6年3月	PAS	自然現象 (雷)	当該事業場の区分開閉器に雷が直撃し、当該事業場にて停電発生し、近隣も停電。 一般送配電会社が配電線路開閉器を開放し、当事業場を切り離し復電。	自然現象（雷）	-